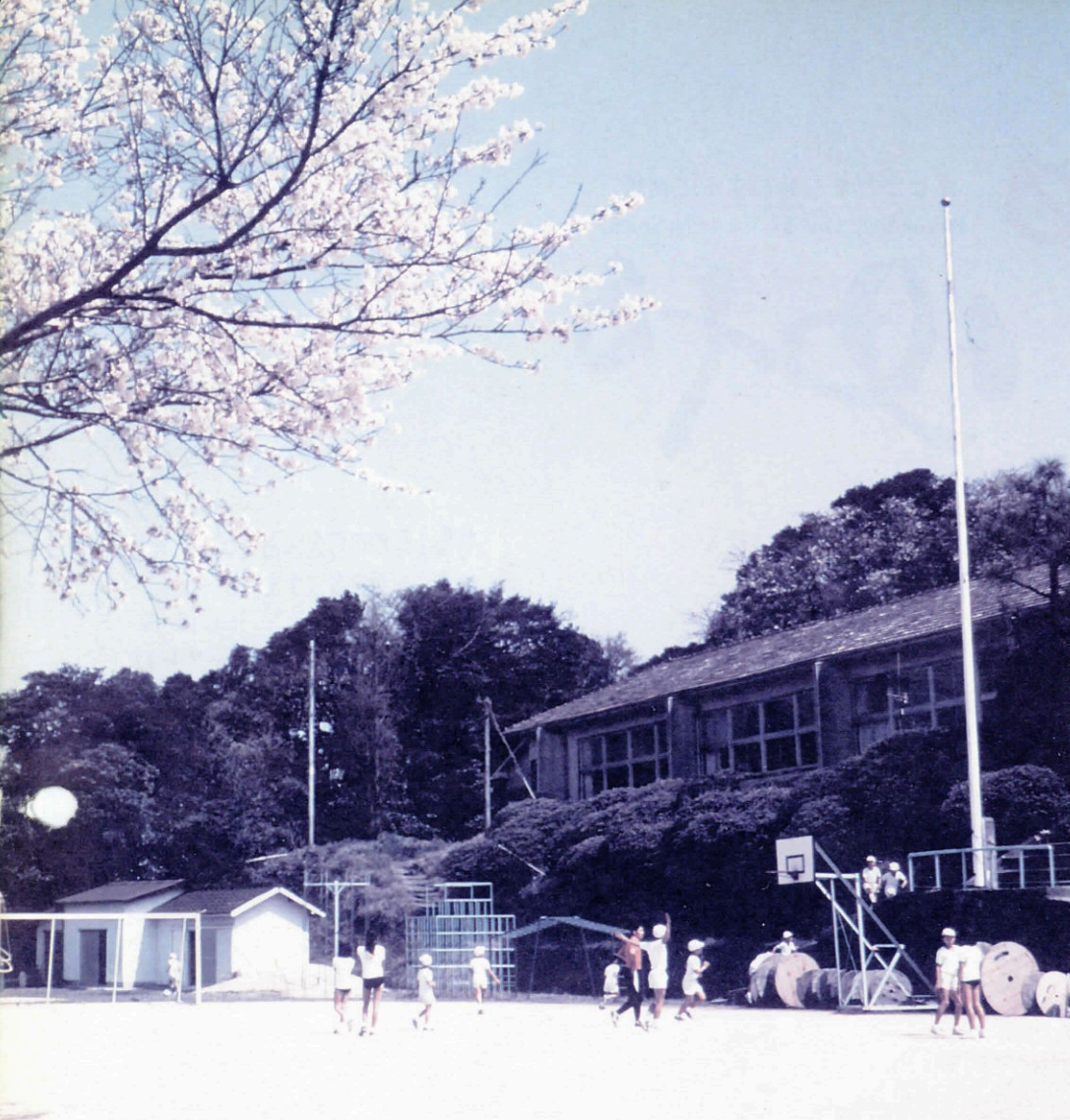


母校の灯火ともしびが消える

〜大平小学校の歴史に幕〜



平成八年三月三十一日、大平小学校の歴史に幕がおろされる。入学式の喜び、運動会の歓声、卒業式の涙。地域に暮らす人々とともに営々と築かれてきた小学校の歴史。いまその灯火がひとつ消えようとしている。人口の減少という抗しきれない時代の波。子どもたちの教育環境を考えたうえでの、苦渋の決断だった。

全国の過疎に悩む自治体には同じようなケースが数多く見られるが、それぞれ知恵をしぼり地域の発展に結びつけようと努力している。いま私たちに問われているのは「廃校」を未来につなげるための知恵ではないだろうか。

